【南大東村】

校務DX計画

「GIGAスクール構想の下での校務のDX化チェックリスト」34項目のうち、本県で実現されていない代表的なものは
１．学校から教職員に紙で提出を求めている書類はありますか。
２．業務にFAXを使用していますか。
３．保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類はありますか。
４．学級・学校経営に有効な教育データ等が、必要な職位に応じてアクセス権限が設定されるとともに、活用しやすいように整理され、閲覧できますか。
以上の４点である。
課題として、教職員に求める提出資料が紙である場合が多いこと、いまだにFAXでの連絡があること、一部に押印・署名によって確認をする慣習や書類が依然として残っていること、教育データをアクセス権限によって管理する慣習が無いことがあげられる。
これらの課題を解決するために、以下の５つの解決策に取り組む。

１．教職員が提出する書類を、クラウドツールを活用しペーパレス化、デジタル化すること

２．FAXの使用をやめ、クラウドツールを活用するよう通知すること

３．令和５年３月27日付総総第3172号「文書管理規程の一部改正に伴う公印の見直し及び契印に係る規定の削除について」を徹底し、押印・署名の慣習をやめること

４．クラウドに教育データをおき、アクセス権限によって管理する体制を整えること
また、上記４つの解決策に加えて、文部科学省「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の状況に留意しつつ、校務システムの更改のタイミングにおいてスムーズに次世代の校務システムへと移行できるよう、校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討を実施する。